

2014年度第2回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（確定稿）

- 開催日時：2014年7月8日（火）18時30分～20時40分
- 開催場所：田無総合福祉センター 第3会議室（4階）
- 出席委員：五十嵐委員長、内田副委員長、小嶋委員、田中委員、松尾委員
（以上、5名）
- 出席職員：丸木地域福祉課長、妻屋ボランティア・市民活動センター係主査、中澤主事、利光主事、長山コーディネーター、渡辺災害ボランティア担当

【配布資料】

- 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(2014年5～6月)
- 2：コーディネート状況等月次報告(2014年5～6月)
- 3：ボランティアコーディネート実績(2014年5～6月)
- 4：2014年度西東京ボランティア・市民活動センター予定表（7～8月）
- 5：夏！体験ボランティア西東京2014チラシ
- 6：災害ボランティア養成講習会チラシ
- 7：2014年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録
- 8：2013年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録＜確定稿＞

○委員長より開会のあいさつの後、会議に移る。

○丸木より人事異動の報告を行う。利光が7月1日付でボランティア・市民活動センター担当となる。
27年度からの新たな取り組みの担当もする。

1. 報告事項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告（2014年5月・6月）について

○事務局より資料1～4に基づき、2014年5月・6月末までの業務について報告を行う。資料2にある新規ボランティア登録者数4月分一般総数「470」を「471」に訂正する。

○以下、質疑、協議が行われる。

委員長：6月に行われたボランティアのつどいの参加者数はどうだったか。

事務局：参加者総数はパンフレット配布枚数より187名と集計している。

事務局：参加人数としては少なかった。ボランティア登録者数は1名であった。館内放送の効果で2階のステージは昨年より人が集まった。

委員長：参加団体は昨年より減ったのか。

事務局：昨年と比べて6団体減っている。

委員：参加者の立場から。昨年と比べ全体的に人が少なかった。参加団体も昨年と比べて減少したが、参加団体間の交流は深くなりよかった。

委員：2階のステージは盛り上がったが、展示のスペースには人が流れなかった。

委員長：今後は、ゆめこらぼとボラセンとで行うことができるのではないかと。ゆめこらぼで行ってい

る5分間PRを活用しても良いのではないかと考える。

委員長：ところで、夏！体験ボランティアの申込状況はどうなっているか。

事務局：今日現在50名弱の申し込みをいただいている。参加理由としては、奉仕の授業の一環や親に勧められて昨年参加して楽しかったから…などがあげられる。

委員：学校によって参加に差が現れたりはあるか。

事務局：学校の先生の働きかけが大きい。子どものスケジュールは夏休みでも予定がいっぱい詰まっている。うまく学校の先生に勧めてもらえるよう働きかける必要性を感じる。

委員長：市の教育担当部署はどのように夏！体験ボランティアを捕らえているのか。

事務局：今はカリキュラムに余裕はない。そのような中で道德の時間には力を入れている。学校の先生の研修の一つとして体験ボランティアに参加したことも過去にはあった。学校の先生から生徒に働きかけてもらうことも方法と考えている。

委員長：災害ボランティア養成講習会の進捗状況について説明を求める。

事務局：7月1日発行のらんていあ倶楽部に養成講習会の開催について掲載している。7月3日には危機管理室が主催する自主防災組織の補助金説明会で、養成講習会のチラシを配布し、説明をしている。今後は講義内容について講師との打合せを行う。

委員長：ターゲットは？

事務局：自主防災組織の方、防災意識の高い方、被災地支援に行った事のある方を含め平常時から災害支援の活動ができる方を対象者としている。

委員：すでに被災地支援を行った経験者を募集しているように見える。裏面に書いてある「定期的な話し合いなどをおしてグループ化を図る」ことを表面に示した方が良いと思う。

2. 審議事項

(1). 2014年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（未定稿）の確認

- 前回運営委員会の記録について確認を行う。確認終了したので確定稿にする。9月の委員会で確定稿を提出することになる。

3. 協議事項

(1). 2014年度事業について

委員長：介護保険制度改正に伴い、要支援者が利用してきたサービスの一部が地域の事業と位置づけられるが、社会福祉協議会としてはどのように取り組んでいくのか。

事務局：社会福祉協議会としては3つの取り組みを考えている。①あいあいサービスの担い手増加の働きかけ ②小地域の中で地域住民がボランティアの需給調整に取り組むモデル事業（けやき小学校・芝久保小学校・上向台小学校エリア） ③65歳以上を対象としたボランティアポイント制 についてなど。

委員：先駆的に取り組んでいる地域では、ボランティアポイント制の対象者を高齢者のみとはせず、子どもが活動してもポイントを付与して、ボランティア活動者を増やすよう働きかけている。

委員長：ボランティアを増やすという側面では、どのような働きかけがあるか。

事務局：地域の中には高齢者・障がい者・子育て中の方など多様な方々が生活している。今後、ボラ

ンティア活動者を増やすためには、多様性を認める啓発活動が重要と考える。多様性を認め
たうえで、一人ひとりが主体的にボランティア活動に取り組んでもらえることがひとつの理
想と考える。

4. その他

(1). 次回運営委員会開催日程について

- 以下の内容を確認した。
 - 開催日時：9月9日（火）18時30分より
 - 開催場所：田無総合福祉センター第3会議室（4階）
- 以上をもって、2014年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議、協
議を終了し、閉会した。